



観賞温室
第2室
企画展示

初夏のガーデン

平成
30年 5/23(水)~7/8(日)

ガーデナーの憧れ、ホワイトガーデン、ブルーガーデンをテーマに、白、青系の花を集めて初夏の庭をつくりました。

色の幅や花形の多様さをお楽しみいただけるほか、花色を引き立てるカラーリーフを効果的につかったようすもご覧いただけます。

さわやかな青、上品な白の織りなす落ち着いた色調のなかで、ゆっくりとした時間をお過ごしください。



ハエトリソウ



©水木プロダクション



ウツボカズラ

ゲゲゲの食虫植物展 ～鬼太郎たちがやってきた!～

平成
30年 7/11(水)~9/9(日)

きらめく粘液を持つモウセンゴケ、毛が下向きに逆立っているサラセニア、瞬間的に葉を閉じるハエトリソウ、壺の中に虫を溶かす液体の入っているウツボカズラは、虫などを捕まえて食べてしまう不思議な植物。姿かたちにもワケがあり、それぞれの環境の中で生きてきました。

夏休みの学習と観察に役立つ素材もたくさん用意しています。

●展示期間中は、小中学生の観賞温室入館料は無料です。



過去の展示



万葉集に詠まれた植物フジバカマ

観賞温室 第2室 企画展示 万葉の植物

平成
30年 9/12(水)~11/18(日)

人間と植物の関わりについて様々な角度からアプローチする秋の展示。今年は、万葉の時代(万葉集が成立した、7世紀後半～8世紀ごろ)に注目します。

当時の暮らしに思いを寄せて、野山を思わせる和の庭園を創出し、人々の生活を支えていた植物、万葉集に詠まれた植物を中心に、古くから身近にあった植物を解説します。

関連イベント

植物園友の会共催 植物学講座「万葉植物と薬草(仮)」

●日時:10月14日(日)13時30分～15時 ●定員:60名 ●参加費:500円

●講師:関 隆司(高岡市万葉歴史館主任研究員)

※受付は9月1日から。植物園までお電話でお申込ください。0250-24-6465

※講座終了後、講師を囲んでの懇親会を予定しています。(参加自由、会場未定)

夏休み体験教室(10:00～15:00)

*事前申込み不要・随時受付

第3室1階無料休憩所/花と緑の情報センター1階

7/8(日)・15(日) 夏休み子ども体験レッスン

- ◆多肉植物のボトルアレンジ
- ◆多肉植物のワイヤー壁掛け
- ◆天使のサンキャッチャー
- 参加費:800～1,200円
- 講師:みどりデザイン研究所

7/22(日)・28(土) 夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:JHS新潟支部

8/8(水)・10(金)・12(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/14(火)・19(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:JHS新潟支部

7/28(土)・29(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/3(土)・4(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/4(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/5(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/10(金)・16(木) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/11(土・祝) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

8/12(日) ◆夏休みハーブ親子体験教室

- 参加費:500～1,000円 ●講師:flowers & garden 風花kazabana

夏休み親子教室

*教室内容・応募方法については新潟県立植物園のホームページで確認のうえ、事前のお申し込みをお願いいたします
*電話での受付は行っていません。

会場・集合場所/花と緑の情報センター(入館無料エリア)

花と緑の教室 *要予約/開催日前月の初日から予約受付

会場・集合場所/花と緑の情報センター2階(入館無料エリア)

7/8(日) 13:30-15:00 植物学講座③「徹底観察ゼミコケ」

- 定員:30名 ●参加費:500円
- 講師:森田竜義(植物園友の会会長)

9/9(日) 13:30-15:00 植物学講座④「タデの仲間を分類しよう」

- 定員:30名 ●参加費:500円
- 講師:森田竜義(植物園友の会会長)

9/12(水) 13:30-15:00 花散歩⑦「熱い国に咲く草花観察会」

- 定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:久原泰雅(県立植物園)

観賞温室第3室 作品展示 *要入館料

7/24(火)・8/5(日) 「はなはつばみ展vol.3」

- 出展:はなはつばみ製作委員会

8/7(火)・8/19(日) 「栃尾てまり 過去から現代の変わらぬあたたかさ」

- 出展:栃尾てまりの会

8/21(火)・9/9(日) 色鉛筆画「花子展」

- 出展:渡辺花子

9/12(水)・9/30(日) 「明後日朝顔プロジェクト NIIGATA 10周年目の花ざかり」

- 出展:明後日朝顔プロジェクトNIIGATA

8/11(土・祝)・12(日) 夏の夜間開園 体験教室 ◆光るハーバリウムを作ろう 17:00～20:00

夜の植物園まつり 20:30まで ◆参加費:500円 ●講師:植物園友の会 ◆事前申込み不要・2日間随時受付

花と緑の相談コーナー 専門相談員が栽培方法などの相談を受け付けています。実物や写真があると答えやすいです。相談は電話でも受け付けていますので、お気軽にどうぞ!

●開設日時.....水曜・日曜 10:15～15:15(12時台は不在)

●場所.....花と緑の情報センター1階(入館無料エリア)

●専用受付電話...0250-24-6437 *水曜・日曜のみ

温室内カフェ いいがたコーヒーラボ 植物園と県内パリスタの共同企画「いいがたコーヒープロジェクト」がプロデュース。県内コーヒー専門店の名店から届いた新鮮なコーヒーをパリスタが丁寧にドリップ。サイドメニューは県内有名カフェ店の手作り焼き菓子を週替わりでご提供します。各コーヒー専門店の豆の販売も行っています。

●観賞温室第3室1階(入館無料エリア) ●金・土・日・祝日 9:30～16:00

観賞温室開館日 ※温室開館時間/9:30～16:30(入館締切16:00) 休館日

7 July							8 August							9 September						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31	・	23	24	25	26	27	28	29
29	30	31	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	30	24	25	26	27	28	29

◆屋外園地無料 ◆無料駐車場300台収容

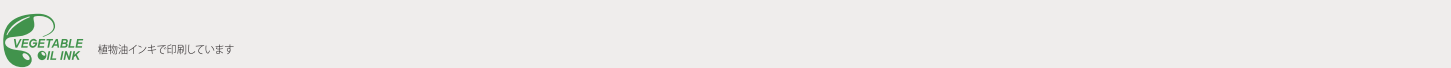
新潟県立植物園 〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地 TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410 HP http://botanical.greenery-niigata.or.jp/ 指定管理者 国際総合学園・都市緑化センターグループ

新潟県立植物園 観賞温室利用案内

	個人	団体(20名以上)	回数券(5回分)	定期券(6ヶ月)
大人	600円	480円	2,500円	1,200円
高校生・学生(シルバー 65歳以上)	300円	300円		
小・中学生	100円	100円		

●シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要となります。
●高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要となります。
●身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により介助者無料)。

JR 信越線古津駅下車徒歩約25分
バス 区バス:新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分 新潟交通バス:新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分
高速道路 磐越自動車道新津ICから国道403号で三条/加茂方面へ約15分
一般道路 (新潟方面から)国道49号から茅野山ICから国道403号加茂/新津方面へ20分



NIIGATA Prefectural Botanical Garden NEWSLETTER

新潟県立植物園 植物園だより

2018 summer Vol.71

カキツバタ *Iris laevigata*

池や沼、水辺の湿地などに生えるアヤメ科の多年草。日本では北海道から九州などに分布している。水辺にたたくその姿はとても美しく、謠や歌などにもたびたび登場する。日本人にはとてもなじみの深い植物の一つ。しかし、ゆえに乱獲などの対象にもなっている。新潟県内では絶滅危惧種に指定されており、また、その群落が天然記念物に指定されている県もある。(丸山真也)

event 1 夏の夜間開園 8/11(土・祝)・12(日) 温室の開館時間を20:30まで延長(入館受付20:00まで) 夜に咲いて香る花など、普段見ることができない熱帯植物の夜の姿をみてみよう!

event 2 敬老の日シルバー無料デー 9/17(月・祝) 65歳以上の方、温室入館無料!

event 3 開園20周年企画「20の花の物語」～植物園から20年分の感謝をこめて～ 新潟県立植物園は平成30年12月で満20歳。「20の花の物語」は、開園20周年を記念して、20種類の花をプレゼントする年間企画です。当日観賞温室に入館された方、先着20名様対象です。

7/8(日) ▶アジサイ 9/30(日) ▶スイセン球根

日ごろより、新潟県立植物園をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。
当園は平成10年12月に開園し、今年で20周年を迎えます。これまで約360万人以上の多数のお客様にお越しいただきました。当初、700種ほどであった植物も新潟の野生種や絶滅危惧植物、花き園芸産業を特徴づけるツツジ、アザレア、ボタン、ユキツバキ等を中心に収集し、現在は4,200種を超える植物を保有するに至りました。
年9回の観賞温室での企画展示、熱帯植物ドーム温室のヒスイカズラやオオオニバス、園内のシャクナゲやサクラ、ツツジやチューリップ、ハーブや紅葉など、いつお越しただいても花や珍しい植物をご覧いただける施設として充実してきた結果、開園当初は15万人前後だった年間入園者も現在は23万人代まで増加しました。



新潟県立植物園 園長 倉重 祐二

昨年度には、にいがたバリスタ協会との共同で、にいがたコーヒープロジェクトをスタートし、コーヒーノキの販売、教室やイベント、カフェの営業を行なって好評をいただいております。
今年度は、寄贈された大株の西洋シャクナゲ約150株を植栽した日本一のシャクナゲ園、新潟県の絶滅危惧植物や日本海型植物の保全、環境教育を目的とした「にいがた自然園」を新たにオープンしました。
さらに現在進行中なのが、子供向けの施設です。生きた植物を使うことのできる植物園の教育施設としての側面が世界的に注目されており、当園でも日本に先駆けて計画を進めています。
次の20年を見据えて、植物園の一貫して変わらない「植物を系統的に収集、保存」を継続しながらも、時代によって変化する保全や教育の役割もしっかり捉え、新潟県らしい植物園を目指していきたいと考えております。皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



開園20年を迎えるにあたり、4月27日(金)に日本一のシャクナゲ園を開園いたしました。このシャクナゲ園には、展望台に向かう斜面からハーブ園までの1.3haに樹高4~6m、樹

齢50年の西洋シャクナゲが約150本植栽されています。
シャクナゲ園を開園するにあたり、西洋シャクナゲの寄贈者である五泉市の長尾秀明氏他18名の来賓や金津小学校4年生、金津保育園の園児らが出席して開園セレモニーが開催されました。新潟県の益田副知事の挨拶をはじめ、来賓の方々のご紹介、倉重園長によるシャクナゲの解説、参加者による記念植樹が行われました。

緑とともに20年

また、開園20年を記念した催し物として、「20の花の物語」を開催しております。開園20年を記念して季節の花を20種類配布する年間企画です。年20回配布日を決め、温室入館者の先着20名様に配布いたしますので、ご要望の方はお早めにご入館ください。
夏休みには、子供たちに大人気の食虫植物展が開催されます。8月11日・12日には夜間に温室を開館する等、様々なイベントや教室で皆様のお越しをお待ちしております。

植物園ニュース

NEWS 1 江戸時代のツツジはどこにある？

江戸時代には世界最高水準の園芸文化が花開きましたが、その中でツツジは寛文から延宝(1661~1681)に染井(東京都豊島区)を中心に大流行し、数多くの新品種が現れました。八重咲きや萼が花弁化した二重咲き、花色の変化など、現在知られる変異は全てこの時代に発見されています。世界初のツツジの専門書である「錦繡枕」には、早咲きの躑躅174、遅咲きの皞月163品種が掲載されています。

1700年代初頭にはツツジの流行は終焉を迎え、1800年代には栽培は大久保(東京都新宿区)にうつりました。全国には数多くのツツジ園がありますが、植えられているのはクルメツツジや大紫などがほとんどで、これらの江戸の貴重な品種を目にすることはごく稀です。

江戸のツツジは失われてしまったのでしょうか。群馬県館林市のつつじが岡公園の新公園と千葉県野田市の清水公園に残っていることは知られていました。これに加えて、島根大学生物資源学部と新潟県立植物園の調査によって、日比谷公園(東京都千代田区)と三菱財閥第4代総帥の岩崎小弥太の別邸で明治末期に作庭された「山のホテル」(神奈川県箱根町)にも、大久保のツツジが残っていることが明らかになってきました。

現在、どのような品種が現存されているかを取りまとめ、秋には学会等で発表を行う予定です。このような品種を保存し、新潟県の主産品であるアザレアなどと交配することで、今までにない新品種が誕生するかもしれません。

(倉重祐二)

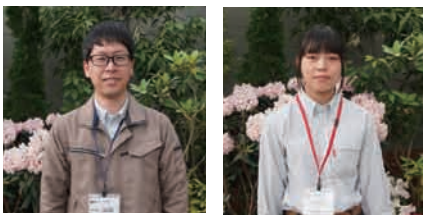


樹齢100年を超えるツツジ園から富士山を望む(山のホテル)



左:全園の品種名調査 右:今年山のホテルではじめて確認された貴重品種「紫竜」

NEWS 2 スタッフになりました



山田裕樹 笠原優奈

4月より新潟県立植物園の緑化推進課に配属となりました山田裕樹と申します。この度、ご縁があって働かせていただくこととなりました。植物園での業務を通じて、お客様が何度も足を運びたいような親しみとおもしろさのある植物園を目指して、さらに盛り上げていきたいと考えております。

(山田裕樹)

4月から新潟県立植物園の企画課に配属になりました笠原優奈と申します。専門学生の頃から植物園には授業や植物園まつりでお世話になり、今回ご縁があって働かせていただくこととなりました。植物園は20周年という節目の年なので、盛り上げていけるように頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いします。

(笠原優奈)

NEWS 3 子ども向けエリア、プログラムの整備に向けて

多種多様な植物を観察、観賞できる植物園は、生物や環境を理解する上で重要な施設であり、環境教育の中心として機能することが求められています。また近年、子どもの自然体験が、心身の成長、環境保全への積極性に重要な役割を果たすことへの研究が国内外で進められています。その背景として、都市化などによる子どもの自然とのふれあい不足が挙げられています。

このような現状を受けて植物園では、「子どもと自然をつなぐ」、「新潟らしい自然体験」をキーワードとして、これまでなかった子どもが遊んで学べるエリアの計画を進めてきました。全国に先駆けて行うこともあり、専門家や教育関係者、地域のみなさんの意見を集めて整備に反映させることにしています。

開園20周年を迎える今年度、整備スタート予定です。今後の情報にご注目ください。

(林 寛子)



植物園での教育活動のようす



美しい葉は観葉植物としても人気です！
(Coffea arabica) アカネ科

コーヒーノキはエチオピアのアビシニア高原原産の常緑低木の植物です。野生では10mもの大きな木になるものもあります。とても愛らしい白い小さな花が咲き、ジャスミンのようないい香りがします。開花期間はほぼ2日間ですが、春から続々と開花します。花の後は緑色の小さな実がなり、だんだんと大きくなるとともに赤色から紫色へと変色していきます。赤く熟した実はさくらんぼに似ていることから【チェリーピーン】と呼ばれます。コーヒーの実は嗜好飲料などにも利用しますが、カフェインが多く含まれているため薬用にも利用されます。光沢があり波打つ葉は美しく、観葉植物としても人気があります。

(藤原厚子)



ウッドデッキを彩るハイビスカス

花と緑の情報センター前のウッドデッキに赤く華やかな花を咲かせるハイビスカスを飾ようになったのは平成26年7月のことで、今年で5年目になります。当初40鉢購入し、一回り大きな6号鉢に植え替え、風による転倒を防ぐため空鉢を板にねじで固定して、その中にハイビスカスを植えた鉢を重ねて二重鉢にしています。強風が予想される場合には中の植鉢だけ抜いて車庫に避難させます。立ち枯れが出ますが、すべての株が枯れてしまうことはないようです。虫害は葉巻虫が発生する程度で育てやすい植物です。5月下旬から10月まで屋外で育てられます。冬前に強く剪定して熱帯ドームで冬越しさせ、枝が伸びて花が咲くようになったらウッドデッキ前に設置しています。

(田中良明)



新潟の植物 ● にいがた自然園リニューアルオープン！

にいがた自然園は、平成15年に「新潟県の絶滅危惧植物と日本海型植物の栽培保全、および環境教育」を行うエリアとして設置され、平成15年10月に行われた「緑の百年物語」による470本の記念植樹、平成16年に行われた「新潟薬科大学建設予定地」からの移植木44本などの植栽が行われました。

平成20年からは、ユキツバキを始めとして県内の植物相を隈なく調査され、生物多様性保全や植物学調査の礎を築かれた(故)石澤 進 先生(元新潟大学教授、元積雪地域植物研究所所長)よりアドバイスや植物の提供を受けながら、絶滅危惧種を含む多く



コゴメウツギ ヒメイズイ

の植物の植栽を進めてきました。
昨年度には希少種を多く植栽したエリアに園路を設け、開園20周年を迎える今年に開園式を行うこととなりましたが、誠に残念なこと一番の立役者だった石澤先生が今年の1月にお亡くなりになってしまいました。

植栽した植物は、自生地から採取された希少な種子や苗から育てられたものばかりで、ノウサギの食害やうまく定着せず枯れてしまったものなどありますが、3mを越す高さまで育ったフジキや県内では佐渡にしか見られないジャケツイバラ、美しい花をたくさん咲かせるようになったヒメジャガやアマナ、コゴメウツギ、ヒメイズイなど多種多様な植物を植栽することができました。

にいがた自然園は、まだまだ発展途上の段階ですが、上記目標のもと、石澤先生からの新潟県の植物をより多くの人に知ってほしいという意味を受け継ぎながら、今後も整備を続けていく予定です。(久原 泰雅)



石澤先生(旧23県山平にて)



上:ヒメジャガ/下:昨年整備した園路

